

## ようこそ私立幼稚園へ

神奈川県私立幼稚園連合会で発行している会報「神私幼」父母の会版を加盟園保護者の皆様にお届けします。



### 子ども達の幸福を願って

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

会長 齋藤 希絵

昨年度に引き続き、今年度も神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただくことになりました、齋藤希絵です。先生方におかれましては、学期末に向けた準備等でお忙しい時期かと存じますが、各園の園長先生方をはじめ、教職員の皆様、関係者の方々には、日頃より子ども達と真摯に向き合い、幼児教育の向上にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会への加盟園数は586園、園児数は10万人を超えており、東京に次いで2番目の規模の団体であります。その大きな団体の父母の会の会長でございますので重責を感じておりますが、私と同じく昨年度より引き続き活動して下さる荒井多恵子・ジリリさおり両副会長を筆頭に、今年度も各地域で活躍して下さっている常任委員の皆様と力を合わせて、先生方にご指導いただきながら、皆様のお役に立てるよう職責を果たしたいと思っております。

昨年度の全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会にて、安倍晋三総理大臣が「幼児教育の無償化に向けての取り組みを加速させていく」と話され、動きが急速に進み、来年度より無償化が始まるようとしております。これは、長年にわたり無償化への活動をしてくださっている先生方をはじめ、全国各地で活動・ご協力してくださっていた保護者の皆様の功績であります。とはいえ、財源の問題や、全ての子ども達に質の高い幼児教育を保障することを目指すためのものでありますので、教育の質の向上等、引き続き取り組んでいく課題は山積みであります。

父母の会連合会では、子ども達の幸福を願い、父母自身の意識を高めるために研修大会の開催も致しております。また、保護者を代表して、子ども・子育てに関わる関係各所との懸け橋となり、子ども達が輝き続けられるよう、皆様と共に活動してまいりたいと思っております。



### 子どもは子どもの中で育つ

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤 俊通

4月にお子様が入園・進級して、9ヶ月が過ぎました。大人にとっても新しい世界に入る事は緊張の連続です。子ども達は小さな心で一日一日を乗り越え、今では幼稚園の中で伸び伸びと過ごしていることなのでしょう。それは何と素晴らしい事ではないでしょうか。人生のスタートラインに立ち、力強く歩んでいる子ども達に大きな拍手を送りたいと思います。

さて、来年10月から「幼児教育の無償化」が実現する運びとなりました。私立幼稚園が父母連と一体となり推進してきた運動が、結実することは大きな喜びであります。保護者の皆様の経済的な負担は大きく軽減されることになり、教育環境も益々充実することが期待されています。しかしながら、無償化の限度額は、全国平均の年額308,000円程度といわれており、神奈川県を始め、大都市圏の私立幼稚園の年間納付金額には遠く及びません。県内の市町村がどのように対応して下さるか、今後とも働きかけは必要ではないかと感じております。

また、神奈川県内には約720の幼稚園があり、その9割が私立幼稚園です。さらに在園している園児の95%以上が私立幼稚園の園児です。つまり、県内の幼児教育は、ほぼ私立幼稚園が担っていると言っても過言ではありません。

保護者の皆様は、それぞれの家庭の教育観とお子様の姿に合わせて、通われる私立幼稚園を選ばれたことでしょうか。文部科学省の調査で、幼稚園に通うご家庭の42%は母親も仕事を持っている事がわかりました。母親の働き方は様々ですが、今の社会では「働いていても幼稚園へ」の流れは自然なものとなりました。県内の90%以上の幼稚園が「預かり保育」を実施しており、その充実にも努めています。お子様との時間を大切にしながら、幼稚園という良質な幼児教育を実感して頂ければ幸いです。

やがて子ども達は成長するにつれ、親から離れて自立していきます。今は大変でも、後で振り返ってみると、「子育て」の時間はどれほど貴重であったか気づかれる事でしょう。

どうぞ、「子どもは子どもの中で育つ」ことを信じて、毎日の子育てを楽しんで下さい。

これからも、私立幼稚園を応援して下さることを、心からお願い申し上げます。

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月14日にかながわようちえん会館会議室で開催され、平成30年度常任委員が右記のとおりに出選されました。よろしくお祈りいたします。



平成30年度 父母連常任委員名簿

役職	氏名	園名(協会)
会長	齋藤 希絵	津田山幼稚園(川崎)
副会長	荒井 多恵子	潮田幼稚園(横浜)
副会長	ジリリさおり	榑町白梅幼稚園(横浜)
庶務	橋本 志乃	津久井幼稚園(横須賀)
庶務	佐々 しのぶ	清心幼稚園(相模原)
会計	小畠 恵美子	上星川幼稚園(横浜)
委員	佐藤 和	川崎青葉幼稚園(川崎)
委員	平野 典子	聖マルコ幼稚園(藤沢)
監事	澤村 珠加	横浜学院幼稚園(横浜)

## 今こそ手塩にかけて～幼児教育の大切さ～

秋気いよいよ深まる中、会場となりましたパシフィコ横浜会議センターメインホールには、県内全域より大変多くの会員の皆様にお集り頂き、大盛況の中開催されました。

はじめに、父母連・齋藤会長より「来年10月より実現される幼児教育無償化への喜びと実施に向けての課題」の話があり、続いて県連・小澤会長より「無償化が確実に実施され、それぞれの家庭にしっかりと反映されるよう引き続き活動し、神奈川の子どもたちの幸せを願い、家庭・幼稚園・地域社会が連携していく」との挨拶がありました。ご来賓の副知事・首藤健治様を始め県議会副議長・齋藤健夫様より、今日の幼稚園教育に対するご理解あるお言葉と共に、更なる子育て支援の拡充をと、力強いご挨拶を頂きました。また、私立学校審議会会長・牧島功様には、ある幼稚園での出来事をご披露して下さり「子どもに寄り添う」大切さについてお話し頂きました。

開会式が終了し、司会の「尾木ママお願いします！」のアナウンスの後、子どもからお年寄りにまで親しまれている教育評論家の尾木直樹先生が、客席からご登場されました。会場は驚きと歓声に包まれ、「研修しちゃうわよ！」とお茶目な言葉で講演会が始まりました。

「尾木ママ」の由来（ご自身はオネエではなく、妻子・お孫さんまでいらっしゃる）は8年前に初めて出演されたバラエティ番組内で、明石家さんまさんに「ママ」と呼ばれた事で、当初は「オネエでもママでもないのに」と戸惑ったそうですが、周りの皆さんが喜んでくれて、話に耳を傾けてくださる方も増え、数多くの出演依頼が来るようになったそうです。

今まで「叱らない子育て」論をご自身の経験をもとに展開され、200冊を超える著書や講演会等でお話しされてきた事が、近年、さまざまな科学的調査・研究により裏付けされてきているとのこと。

脳科学の発達により、叩く・叱る・威圧する等の行為は脳を平均19.1%萎縮させ、反対に褒める・認める行為で脳内の海馬容積が約10%膨らむとの研究もあるとお話し頂いた時は、会場内が納得の空気に包まれました。

叱らず言葉で諭すことにより、モラルの形成・感情のコント



尾木直樹 先生 (尾木ママ)

(教育評論家 / 法政大学特任教授 / 臨床教育研究所「虹」所長)

ロール・落ち着いて話を聞く・約束を守る・我慢する事や集団行動が出来る子に育ちます。

また、習い事等が「続かないから」といってコロコロ変えるのではなく、子ども自身が本当に好きな事を見つけてあげるのが親の仕事である、とのお言葉がありました。自己決定経験を重ねることで自己肯定感を持つ事が出来、自己責任が取れる子に育つとのお話は、まさに私にとって子どもに「将来こうなって欲しい」理想像で親への教育の大切さを改めて実感しました。

現代の学習場所として「リビング学習」が増えている理由や、男女の脳の違いについても、非常に納得のいくお話を頂きました。一般的に男の子は「手がかかる」と言われていますが、「愛情の伝わり方が違う」と捉えればよいというのは驚きで、女の子はグループで共感しながら成長していくお話には、ほとんどの女性が納得した事と思います。男女の違いを認識する事で、子育てを楽しむだけでなくパートナーへの理解も広げる事が出来ると教えていただきました。

幼児期に「読み聞かせをする」「自然の中で遊ばせる」事で、子どもの「脳のコントロールタワー（喜怒哀楽の感情）」が育ち、親にも共感脳力が付くそうです。身近な行動の中に非常に大事な事がありました。

「叱り方のコツ」としては、頭ごなしに叱るのではなく、①「どうしたの？」とまず聞いてあげる（優しい声で!）、②言い分を聞く、③「それは大変だったね」とつらさに共感してあげる。褒めるときは、努力の過程や優れている内容を具体的に褒めてあげることが大切とお話し頂きました。ただし、反抗期には無意味で「言いたい事を言って去る」ほうが良いそうです。

私はこの講演を聞いて、大変多くの事を学びました。子育てに手遅れはないと自分の心を広げ、子どもの心を豊かにしてあげられる母親になりたいと強く感じました。この機会に感謝すると共に、今後の子どもたちと過ごす時間にお役立て頂ければ幸いです。

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 荒井 多恵子

### 教育相談事業



教育相談員  
鈴木 敦子 先生  
(臨床発達心理士)

#### 怒っているとどうなるでしょう？

人は様々な理由で怒ります。怒らせた相手を厳しく叱ることもあります。私は怒るときには1分間だけ怒るように頑張ります。怒ります。それでも1分間だけ怒るように努めます。何故かという怒っている間は思考停止しているからです。頭がはたらいっていないのです。ですから怒っているときは「マズイ、マズイ思考停止、思考停止」と呪文のように唱えます。

- 実施曜日 電話、面談による相談  
(面談による相談は「ようちえん会館」にて行います。)  
毎週 火曜日 10:00~12:00  
毎週 木曜日 14:30~16:30  
巡回相談及び講演 金曜日(要相談)
- 形 態 教育相談に係る講演および幼稚園への出張相談、及び電話相談、面談。
- 相談費用 無料
- 相談申込 電話またはホームページから、神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申込みください。
- ホームページ



TEL. 045-440-3210

<http://www.shinshiyou.com/education.html>